



ご挨拶

横浜国立大学

中井里史

引き続きもう二年、理事長を務めることになりました横浜国大の中井里史です。どうぞよろしくお願いいたします。

これまでの二年間は、学術活動というよりも主に室内環境学会の一般社団法人化、さらにそれに付随する様々な事務的な整理に取り組んで参りました。まだまだ課題があるのは承知ですが、もうそろそろ、「法人化にとまって…」といった発言等も不要になってきたかなと思っており、学術活動の推進、また会員の皆様が気持ちよく学会内で研究活動ができるような体制の整備を進めて参ります。

二年前に懸案事項であった学会の財政的状况に関しては、会員の皆様のご協力もあって、徐々に改善の方向に向かっております。削減をお願いさせていただいた分科会活動や支部活動への補助もなんとか元通りにできつつあります。十分な補助ではないことは承知ですが、各分科会の皆様には様々な活動を考案・実施していただきたいと思っています。また当初学会として開始してきた研究助成制度についても、助成金のご寄付をいただくことができました。今後、ずっと続けていただけるかどうかは私たちの活動次第かと思いますが、若い方を中心に是非とも研究助成制度を利用して、研究を進めていただければ幸いです。このように、室内環境学会はようやく新たなスタート地点に立てるような状況になってきたと思っはいますが、まだ軌道に乗ったわけではありません。なんとか軌道に乗せて、次の理事長に引き継ぎたいと考えています。

さらに、室内環境学会は、学際領域での活動にとどまらず、実世界での社会的貢献も求められていると思っています。現実の生活や社会において具体的に役に立てるようになるためには、多方面の方との共同研究や多角的な視点に基づく活動も必要でしょう。個別の研究領域だけではなく、分野横断的研究などのあり方などを検討しながら、いろいろなことにチャレンジしていきたいと考えています。

さてご存じの通り、本年の学術大会は沖縄で開催いたします。運営をお手伝いいただくことも含めて琉球大学の堤純一郎先生に会員となっただけでしたが、他に会員のいらっしゃるごとの大会開催は、理事会として大きな決断であったことは間違いありません。今回、理事会メンバーを中心に学術大会実行委員会を組ませさせていただきますが、学術大会の運営方法や開催地に関して様々な試みや検証をさせていただきます、今後いろいろな方、いろいろな場所で、それほど大きな負担をかけずに開催できるような体制を構築し、学術大会開催の可能性を広げていけるようになればと思っています。そのためにも、皆様の様々なご協力が必要です。是非ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。なにはともあれ、演題を用意していただき、12月には沖縄までいらして下さい。もちろん、来年以降の学術大会もよろしくお願いいたします。